



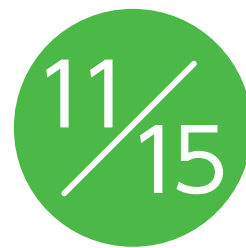
[発行] 中 央 区 議 会
中央区築地一丁目1番1号
[電話] 3543-0211(大代表)
[中央区議会ホームページ]
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより



第3回定例会



令和6年(2024年)
No. 267

令和5年度各会計決算を認定

総額は、歳入決算額が1,945億8,304万7,254円、歳出決算額が1,891億9,863万4,324円となりました。(6・7面)

令和6年度中央区一般会計補正予算などを可決

条例の一部改正、請負契約などを原案のとおり可決しました。(8面)



浜離宮恩賜庭園の箱庭
(晴海西中学校生徒作成)

主 な 内 容

- 一般質問
..... 2面～4面
- 委員会の活動
..... 5面
- 決算特別委員会のあらまし
..... 6面～7面
- 議案の審議結果
..... 8面

第3回定例会の経過

- | | |
|-----------|--------------------|
| 9月18～20日 | 本会議 |
| 24日 | 企画総務委員会 |
| 25日 | 区民文教委員会
企画総務委員会 |
| 26日 | 本会議 |
| 27日 | 環境建設委員会
福祉保健委員会 |
| 30～10月11日 | 決算特別委員会 |
| 17日 | 本会議 |

提出された議案

- ◆区長提出議案
- ・ 条例..... 4件
- ・ 予算..... 2件
- ・ 決算..... 1件
- ・ 契約..... 1件
- ・ 財産..... 2件



区議会ホームページ
をご利用ください！

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



中央区議会立憲民主党
梶谷 優香

防災・災害対策について

問 避難所での紙を用いた入所受付は、業務負担が大きく避難者情報の把握に時間を要する。個々の状況に応じたきめ細かな支援も困難になることから、各自治体でデジタル化が進められている。本区でも、避難者カードのデジタル化を早急に推進しては。

答 能登半島地震では、業務量の急速な増加から混乱が生じ、状況把握の遅れや適時適切な避難者支援につながらなかった等の課題があった。これを踏まえ、避難所業務のデジタル化について、より迅速かつ効率的な避難者情報の集約が図れるよう、総合防災システムの導入検討を進め、できる限り早期に運用を開始する。

安全・安心・魅力あるまちづくりについて

問 区立図書館ホームページの利便性向上に向け、貸出カードの提示や履歴の閲覧、館内イベントの一覧表示を分かりやすくするなど、リニューアルも含めたさらなるデジタル化を進めては。

答 来年度に図書館システムのリプレイスとあわせ、ホームページのリニューアルを予定。利用者の意見や他自治体の事例等も参考に、利便性向上や業務効率化に向けデジタル化を推進していく。

妊娠・出産～子育て環境の充実について

問 赤ちゃん用品自動販売機について、本庁舎をはじめとする、子育て世帯が多く集まる施設に設置すべきと考えるが、見解は。

答 こうした取り組みは、子育て環境のさらなる充実に資するものと認識。区施設における自動販売機については、区の許可を受けた福祉団体等が設置していることから、新規設置や入替えの際には、赤ちゃん用品自動販売機の積極的な導入を働きかけていく。



中央区議会自由民主党議員団
押田 まり子

区の未来を担う子どもの育成について

問 子どもに夢をもたせ、夢を育てるため、どのような教育に取り組んでいるか。時代に合わせた夢の育て方について見解を。

答 トップアスリートなどを招いた出前授業を行い、競技に対して真剣に臨む姿勢や、目標に向かって挑戦を続ける大切さなど、夢や将来像につながる生き方を学んでいる。子どもたちの意見を反映させつつ、キャリア教育を充実させるとともに、子どもたちの琴線に触れる体験を重視した教育活動を推進し、一人一人が夢や将来像を描きながら未来に向けてはばたく力を育んでいく。

問 本区の幼小中に対する教育は手厚いと考えるが、高校生に対し、学校教育以外の教育としてキャリア教育などを行う考えは。

答 様々な世代やキャリアを有する方々と接し、知見を得ることは、自己の将来を考えるうえで重要。「区民スポーツの日」などのイベントでのボランティア参加を通じて、多様な気づきを経験する機会を提供してきた。今後も、このような機会の提供に努め、高校生世代のキャリア形成を後押ししていく。

東京湾大華火祭の再開について

問 再開に向け近隣区と調整が必要と考えるが、状況は。

答 開催費用や令和4年調査時からの環境変化への対応など、課題を乗り越えるため、近隣区と平成27年度の実施結果の確認など協議を開始。引き続き、調整を進め積極的に取り組んでいく。

福祉行政について

問 高齢者の経済状況や健康面の個人差に対する施策の見解は。

答 「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を3年ごとに策定し、高齢者のニーズに応えるために取り組むべき施策を計画的・総合的に推進している。一人一人の抱える状況が多岐にわたるため、区政全体を通じて安心して暮らせる施策を展開していく。

問 (1)おとしより相談センターは、相談を待つ姿勢ではなく地域へ赴いては。(2)高齢者施策策定の基準や声の吸い上げ方法は。

答 (1)今年度、日本橋保健センターと月島保健センターの健康イベントにおいて、相談センター職員による個別相談会を実施。今後も、地域の方々や関係部署と連携を図りつつ、身近な場所で気軽に相談できる環境づくりを推進していく。(2)本区の特徴や公共性・必要性を考慮し、施策を展開。「中央区高齢者施策推進委員会」を設置し、幅広く意見をいただいているほか、「ひとり暮らし高齢者等調査」などを通じて区民からの声もいただいている。



中央区議会自由民主党議員団
田中 耕太郎

効果的な広報・広聴について

問 「区のおしらせ ちゅうおう」について、(1)町会・自治会配布を廃止し、新聞折込と希望者への個別配送に変更となる。町会・自治会の財源となっていた配布補助は。(2)個別配送希望者数と配送コストは。(3)総発行部数の減少や閲読率の低下への対策は。

答 (1)配布負担が軽減されるため、委託単価を見直した。一方で、町会・自治会の区域住民相互の連絡などの機能は重要であるため、業務委託を継続しつつ、新規会員の加入促進を後押しするため

「加入促進加算」を新設。(2)現在約3千件の申し込みがあり、今年度の配送コストは約160万円。(3)紙媒体、デジタル媒体それぞれ希望の方法で区民が情報を受け取れるよう取り組むとともに、今後も工夫を重ね、「伝わる」広報紙を制作・お届けしていく。

問 晴海フラッグをはじめとする新しい住民が多い再開発地域等の要望をどのように把握していくのか。現状と対応策は。

答 コミュニティ連絡相談員を配置し、町会活動に関する相談・要望を把握。晴海フラッグにおいては、新たな住民を円滑に地域に迎え入れる準備を進め、自治会と区との信頼関係を構築してきた。今後も、区民の声を受け止めつつ区政運営に取り組んでいく。

社会情勢に対応した 区民サービス向上について

問 児童手当の制度改定等に伴い、課税証明書類等の取得ニーズが高まっている。本区でもコンビニ交付を早期に導入すべきでは。

答 令和8年1月に予定されている税基幹システムの標準化の中
(次ページへつづく)

で対応していくが、戸籍証明書については、3月1日に開始した広域交付の効果を見極めながら導入の必要性を検討していく。

問 HPVワクチンの効果やリスクをどのように考え、男性の接種に対する啓発や助成について見解は。

答 国において、子宮頸がんや肛門がんの予防効果が認められ、重大な懸念はないと判断されている。男性の接種は、現時点で費用対効果に課題があるため、国が引き続き科学的知見に基づき分析を行っていく。国の動向を注視するとともに、男性への接種の

啓発、助成について、周辺自治体の状況も踏まえて検討していく。

問 外国人居住者との共生の課題となる言葉や文化の壁を取り除く施策は。交流を深める機会を創出するための取り組みは。

答 外国人向け生活ガイドブックを転入時に配布し、学校教育においては語学指導員を配置。また、中央区文化・国際交流振興協会が開催する日本語教室や「国際交流サロン」を通じ、交流が深まるよう取り組んでいる。異なる文化を理解し合い多文化共生を実現することで、誰もが暮らしやすい環境づくりを推進していく。



かがやき中央

高橋 元気

公共交通機関の整備について

問 さらなる人口増加を見据え、晴海地区の移動手段であるB R

Tや都営バスの輸送量を確保すべき。増便の検討は。

答 これまでも都や事業者は増便等を実施。区もさらなる交通環境の拡充が着実に図られるよう実質的な支援を行っていく。

公共的空間における受動喫煙防止対策について

問 過料徴収の罰則制定を含め、より実効的な対応をする考えは。

答 過料は行政処分。職員確保等の点で実効性の担保は難しい。

その他質問事項

①自転車交通ルールの周知・啓蒙活動について
②福島県大熊町との連携について



かがやき中央

高橋 まきこ

築地と周辺のつながりについて

問 築地市場跡地開発の提案概要が示されたが、歩行者導線のために、東京高速道路KK線銀座付近へ歩行者デッキを整備しては。

答 交通計画の詳細が示されていないことから、事業予定者決定後に提出した要望書を踏まえ、新大橋通りを跨ぐ歩行者デッキの整備など具体的な検討を行うよう引き続き協議・調整していく。

中央区こども計画と子どもの権利について

問 全児童館で利用時間の統一と運営の改善について考えを。

答 ニーズに応じ特色ある運営を実施しているが、狭小で中高生世代の活動が困難な児童館では延長の考えはない。児童館が健全な遊び場となり、信頼される子育て支援拠点となるよう取り組む。

その他質問事項

適応教室「わくわく21」について



かがやき中央

小坂 和輝

再開発による総戸数は晴海フラッグ規模、教室不足への対応策

問 超高層マンション建設の再開発は、教室数などインフラの許容を遥かに上回る規模で行われている。月島地域内の未活用の土

地、例えば、晴海二丁目都有地を学校建設用地として取得しては。

答 本区は面的整備と個別建替の促進により、地域課題や社会状況の変化に即したまちの機能更新を進めている。生徒・児童数の増加には、教育委員会と連携し、まちづくりを通じて課題解決に取り組んでいる。土地購入などの検討はしていないが、教育環境の整備には、あらゆる手立てを講じ滞りのないよう対応していく。

その他質問事項

①地元医師等の防災拠点への参集体制 ②築地地区まちづくり事業マネジメント会議に区の考えを ③築地川アメニティ整備構想で築地川区間上部空間活用 ④教員欠員に備えた人員確保と「働き方改革推進プラン」の改定 ⑤教育委員会定例会でタブレット導入と資料のネット公開 ⑥「教育振興基本計画」改定



中央区議会公明党

墨谷 浩一

がん対策の充実について

問 港区立がん在宅緩和ケア支援センターでは、相談窓口や交流スペース、情報コーナーを設けるなど包括的な支援を実施。患者や家族が安心して相談し、学び集える居場所づくりを進めては。

答 がん患者と家族の苦痛や精神的不安を緩和するため、必要な支援が受けられる環境の整備や、がんに関する正しい情報の提供が重要。区はこれまで、医師会が実施する「がん何でも相談」への協力や、聖路加国際大学と連携した講座等を実施してきた。今後も医療機関等と協力し、がん対策のさらなる拡充を図っていく。

認知症施策の充実について

問 介護する側とされる側両方の負担軽減に有用なユマニチュード^{*}について、まずは介護従事者を対象に講演会を開催しては。

答 区内複数の介護施設においても一定の効果がみられ、有効な技法の一つと認識。そうした施設の実例や意見を参考に、事業者のニーズ等も踏まえながら、講演会等の実施を検討していく。

熱中症対策の充実について

問 学校現場における熱中症対策について、(1)予防に関する教職員への研修や、児童・生徒への教育をどのように実施しているか。(2)著しい気象変動に応じて、教育活動の見直しを行うべきでは。

答 (1)教員には、緊急時に迅速かつ適切な対応が図れるよう、実践力を高める研修を各学校で実施。子どもたちにも、保健学習の単元で予防方法や手当の仕方等を指導している。(2)水泳授業の前(次ページへつづく)

倒しや運動会開催時期の再検討など見直しを行っている。今後も、子どもたちの命を守る熱中症対策に万全を期していく。

環境対策の充実について



中央区民クラブ
山本 理恵

高齢期の生と死の尊厳について

- 問** 身寄りのない方の孤立死は、無縁仏として自治体に火葬する義務があるが、(1)本区における無縁遺骨の現状と課題は。(2)親族等の捜索に係る事務負担や埋火葬等に係る財政的負担の状況は。(3)今後の無縁遺骨の見込みを踏まえた対策は。
- 答** (1)過去10年間の行旅死亡人の葬祭実績は、年平均4件程度。墓地埋葬法に基づく場合や生活保護受給者の年平均件数は、直近5年間で13件、48件であり、大幅に増えている。親族に連絡が取れても遺体や遺骨の引き取りを拒否されるケースや、遺体等の取扱いに関する統一的なルールがないこと等が課題である。(2)(3)親

- 問** 食品ロス削減に向けた「ちゅうおう食べきり協力店」の取り組みを、中央清掃事務所や保健所等と連携し推進しては。
- 答** 今年度から清掃事務所と保健所が連携し、リーフレットを配布。今後は、中央区健康づくり協力店事業との連携により食べきり協力店の拡大を図るなど、さらなる食品ロス削減に努めていく。

- 族調査は相当の期間を要し、葬祭経費も近年増加傾向にあることから、国の実態調査の結果を踏まえ、今後対策を講じていく。
- 問** 本区における身元保証事業に対する認識と課題は。今後、身元保証サービスの需要が一層高まっていくことが見込まれる中、身元保証事業に関する利用実態調査を実施すべきでは。
- 答** 身元保証サービスに関する問い合わせに加え、ニーズが高まっていくものと認識。まずは、契約上の留意点等を含めた、身元保証サービスの活用に関する講演会の実施を検討していく。
- 問** 身寄りのない方の死亡情報や引き取り手のない遺体の情報が必ず入る自治体の強みを活かした終活支援相談や意思伝達事業などの新たな行政サービスを提供していくべきでは。
- 答** 終活関連事業は、本人が倒れた場合や亡くなった場合に、遺言書の保管場所や葬儀に対する希望等が誰にも伝わらず、意思が尊重されないといった区民の心配を解消するための取り組みであると認識。現在、エンディングノートの普及・啓発を図るほか、「すてっぴ中央」の金銭管理等のサービスや法務局の自筆証書遺言書保管制度等の相談先を案内。今後も他自治体の動向や区民ニーズを確認しながら、終活支援事業の充実を検討していく。



日本共産党中央区議会議員団
奥村 暁子

雨水の活用について

- 問** 墨田区など多くの自治体が設けている雨水タンク設置に対する助成制度の創設を求めるが、区の見解を。
- 答** 市街地開発事業指導要綱などにおいて、雨水貯蓄施設の設置を開発に反映させる項目の1つに位置づけ事業者への指導を行っており、建物の規模に応じた設置が進んでいると認識している。

空き家対策について

- 問** 無接道敷地等に建つ空き家や土地を今後、区は買い取るが、

- デベロッパーへの転売でマンションが建たないようにすべきでは。
- 答** 土地を購入する場合にあたっては、転売を前提とするのではなく、無電柱化促進のための地上機器置場や消火器の設置など、地域防災機能の向上に資する活用等について検討している。

学校給食について

- 問** 渋谷区は今年度、「日本一美味しい給食」を目指し給食単価を35%上乘せし、栄養士から「提供できる食材が増やせた」などの声が上がっている。本区も10%上乘せしたが、さらなる充実は。
- 答** 学校行事等に即した献立作成など、質の向上や食育の観点に寄与しつつ、子どもたちが楽しめる給食の提供に取り組んでいる。
- 問** 他区が行っているように不登校児童・生徒に対しても給食費相当額の補助を求めるが、区の考えは。
- 答** 給食費の無償化事業が、学校設置者として提供する給食を対象としているものであり、現時点において補助を行う予定はない。

その他質問事項 ①耐震助成制度について ②生活保護について ③会計年度任用職員の処遇改善について



中央区議会参政党
黒原 裕司

新型コロナウイルス感染症対策について

- 問** 10月に定期予防接種が始まるmRNAワクチンについては、疾病・障害認定審査会において健康被害の認定が増加している。認定状況のほか、接種後の有害事象には健康被害救済制度がある

- ことなど、区民には十分な周知が必要。予診票送付時の紙面での周知や広報紙等での情報発信などについて区の考えを。
- 答** 予診票に同封する「予防接種のお知らせ」のほか、ホームページで副反応や健康被害救済制度を周知していく。また、区から国や都のホームページにリンクし、救済制度の申請状況や審査会の審議結果等について広く情報を得られる機会を確保している。
- 問** 医療機関へ同様の周知を行うとともに、被接種者へmRNAワクチンの状況を説明するよう要請するべきだが、区の見解は。
- 答** 9月17日に、区内の新型コロナウイルス感染症予防接種実施医療機関に向け説明会を実施した。接種の際には、被接種者に効果や副反応を十分説明した上で接種していただくよう伝えた。

その他質問事項 ①緑化推進について ②学校給食について

※ユマニチュードとは？

フランスから取り入れられた、認知症のある方の尊厳を重視するケア手法。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱で、大切に思っていることを相手に伝えることより、症状の軽減につなげる。

本議会の発言内容は会議録に収録され、後日、本庁舎情報公開コーナーおよび区立図書館に備えますので、そこで閲覧することができます。また、区議会ホームページにも掲載しますのでどうぞご利用ください。

委員会の活動（令和6年7月～10月）

常任委員会

企画総務

〔議案の審査〕

- ◆令和6年度中央区一般会計補正予算
- ◆令和6年度中央区介護保険事業会計補正予算

ほか3件

〔主な報告事項〕

- ◆令和6年度都区財政調整の概要について

ほか4件

〔所管事項に関する施設等の視察〕（7月22日）

- ◆GovTech東京

〔行政視察〕（10月22日～24日）

- ◆宮城県気仙沼市（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館について）
- ◆岩手県陸前高田市（東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）について、市庁舎、東日本大震災の実体験について）

区民文教

〔議案の審査〕

- ◆中央区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

〔主な報告事項〕

- ◆第1回中央区晴海まつりの実施について
- ◆晴海西小学校の児童数増加に伴う対応について
- ◆令和7年度から使用する中学校教科書の採択について

ほか10件

〔所管事項に関する施設等の視察〕（7月25日）

- ◆晴海図書館／日本銀行金融研究所「貨幣博物館」

〔行政視察〕（10月30日～11月1日）

- ◆石川県小松市（未来型図書館構想と子ども司書の養成について）
- ◆京都府京都市（オーバーツーリズム対策について、不登校特例校（洛風・洛友中学校）について）

福祉保健

〔議案の審査〕

- ◆中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例

ほか1件

〔主な報告事項〕

- ◆区の保有する債権の放棄について
- ◆国民健康保険被保険者証とマイナンバーカードの一体化等について

ほか5件

〔所管事項に関する施設等の視察〕（7月23日）

- ◆プレディプラス豊海／晴海おとしより相談センター・晴海保健センター

〔行政視察〕（10月29日～31日）

- ◆北海道函館市（介護人材の確保に向けた取組について）
- ◆北海道千歳市（こども家庭センターの母子保健機能事業について）

環境建設

〔議案の審査〕

- ◆中央区立公衆便所条例の一部を改正する条例

〔主な報告事項〕

- ◆月島地域で行われるロボット配送サービスについて
- ◆隅田川テラスにおけるスロープ整備について
- ◆八重洲二丁目地区地域冷暖房施設の都市計画の変更について
- ◆令和5年度中央区役所温室効果ガス排出量等について
- ◆一般財団法人中央区都市整備公社の運営状況について
- ◆柳通りにおける社会実験の実施について

ほか9件

〔所管事項に関する施設等の視察〕（7月24日）

- ◆メブクス豊洲／自動運転車両

〔行政視察〕（10月23日～25日）

- ◆京都府向日市（向日市役所本庁舎のZEB Ready取得について）
- ◆福岡県北九州市（Park-PFI（勝山公園）について）

特別委員会

築地等都市基盤対策

〔主な報告事項〕

- ◆「築地川アメニティ整備構想」の整備等について
- ◆築地一丁目地区に係る都市計画について
- ◆柳通りにおける社会実験の実施について

〔行政視察〕（7月18日～19日）

- ◆兵庫県神戸市（鈴蘭台駅前地区第二種市街地再開発事業について、神戸ウォーターフロントビジョンについて）

子ども子育て・高齢者対策

〔主な報告事項〕

- ◆個人番号を利用する事務の追加及び当該事務で利用する特定個人情報の設定について
- ◆各予防接種の実施について
- ◆幼稚園施策のさらなる充実について

〔行政視察〕（7月10日～11日）

- ◆愛知県小牧市（こまきこども未来館について）
- ◆愛知県豊田市（ずっと元気！プロジェクトについて）

地域活性化対策

〔主な報告事項〕

- ◆区民施設の指定管理者の評価結果について
- ◆区民館の工事に伴う休館について

〔行政視察〕（7月17日～18日）

- ◆滋賀県近江八幡市（VR安土城、城下町の歴史的景観の活用等について、近江八幡市観光振興計画について、電子地域通貨「ビワコ」の導入・運用等について）
- ◆滋賀県草津市（琵琶湖博物館（郷土資料館を活用した地域活性化）について）

防災等安全対策

〔主な報告事項〕

- ◆各予防接種の実施について

〔行政視察〕（7月11日～12日）

- ◆宮城県仙台市（せんだい3.11メモリアル交流館について、震災遺構仙台市立荒浜小学校について）
- ◆宮城県多賀城市（震災経験・記録伝承事業、減災事業について）

決算特別委員会のあらまし

決算特別委員会の設置

決算特別委員会は、9月26日の本会議において委員14名をもって設置され、令和5年度中央区各会計歳入歳出決算の認定について、付託を受けました。

本会議散会后、議長招集による初の委員会が開会され、委員長には竹内幸美委員が、副委員長には田中広一委員が選出され、即日就任し、本委員会の構成が行われました。

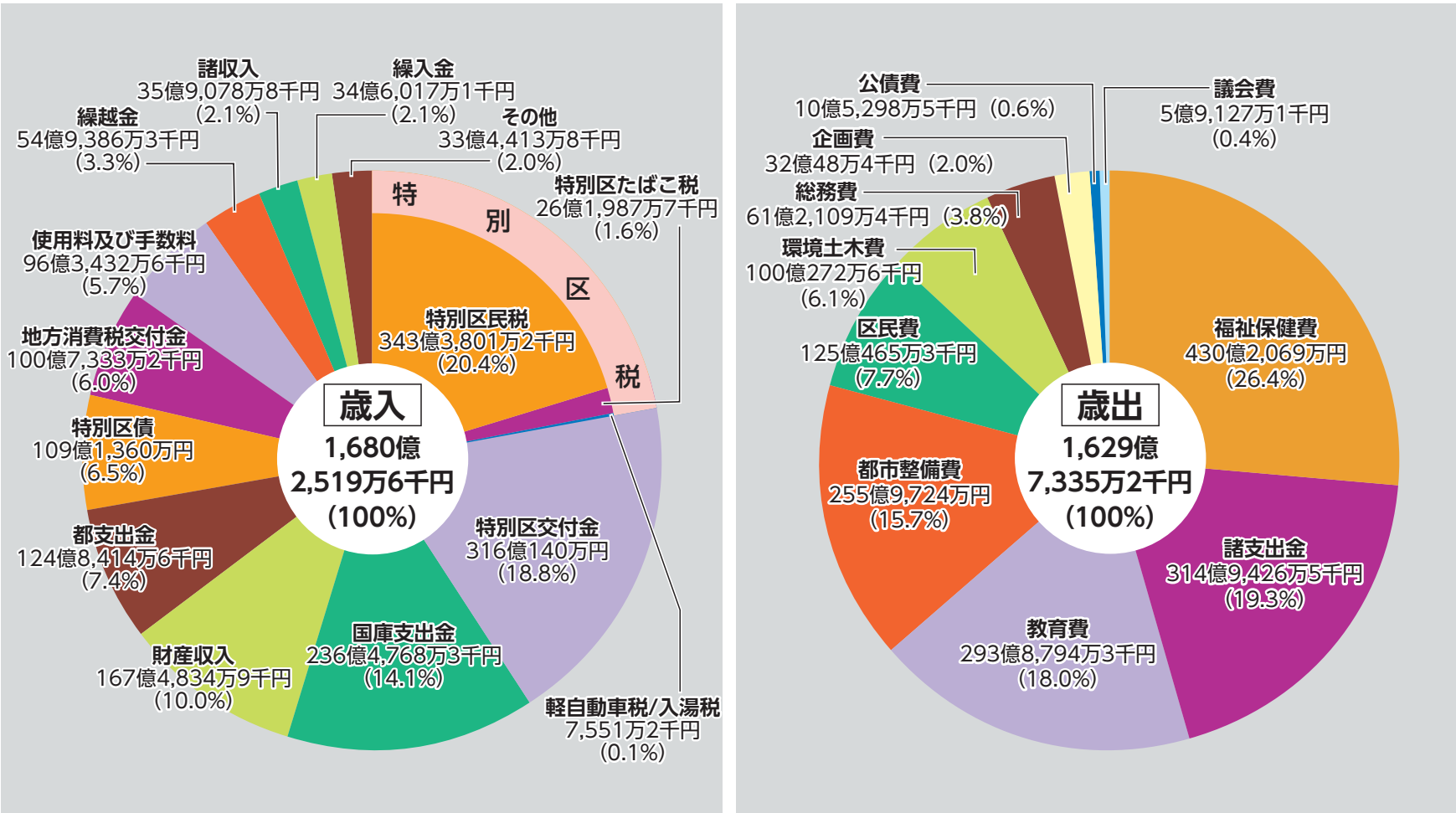
決算特別委員会委員

【◎委員長 ○副委員長】	
◎竹内 幸美 (自由民主党)	高橋まきこ (かがやき中央)
○田中 広一 (公明党)	ほづみゆうき (かがやき中央)
原田 賢一 (自由民主党)	山本 理恵 (区民クラブ)
塚田 秀伸 (自由民主党)	小栗智恵子 (日本共産党)
海老原崇智 (自由民主党)	梶谷 優香 (立憲民主党)
太田 太 (自由民主党)	上田かずき (維新)
青木 かの (かがやき中央)	白須 夏 (士魂の会)

令和5年度各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	1,680億2,519万5,631円	1,629億7,335万2,007円	50億5,184万3,624円
国民健康保険事業会計	135億7,209万4,101円	134億144万2,754円	1億7,065万1,347円
介護保険事業会計	95億2,248万8,016円	93億7,666万2,455円	1億4,582万5,561円
後期高齢者医療会計	34億6,326万9,506円	34億4,717万7,108円	1,609万2,398円
合計	1,945億8,304万7,254円	1,891億9,863万4,324円	53億8,441万2,930円

令和5年度一般会計歳入歳出決算の内訳



千円単位の金額は、それぞれの数値を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)については、端数調整をしているため、合計とは一致しない場合があります。

9月30日 決算特別委員会



審査の概要

令和5年度における本区財政は、特別区民税や特別区交付金に一定の伸びが期待できるものの、ふるさと納税による税の流出拡大、景気の下振れリスクなど、依然、予断を許さない状況のもと、拡大かつ多様化する行政需要や区民ニーズに対し、可及的速やかな施策の対応が求められたところです。

本特別委員会は、決算認定の審査に当たり、これらを踏まえ、本区の行政運営が限られた財源と権能の中で、区民の要望と意向を捉えつつ、区民の福祉向上のために、いかに適正かつ効果的に予算執行がなされたか、かかる観点から、9月26日の本会議での付託以来、延べ12日間にわたり慎重に審査を行いました。

9月30日には、まず一般会計歳入より質疑を開始し、次に一般会計歳出、続いて国民健康保険事業会計、介護保険事業会計及び後期高齢者医療会計の各歳入歳出を一括して質疑し、最後に総括質疑を行い、10月11日には全ての審査を終了しました。

さらに、同日に各会派の態度表明が行われ、最後に各会計歳入歳出決算の認定について、起立多数で認定すべきものと決しました。

各会計決算に対する各会派の態度表明

中央区議会自由民主党議員団

賛成

- ◆晴海フラッグを筆頭に子育て世代の人口増加が続く本区の今は、子育て・教育環境の更なる整備が求められます。
- ◆インバウンドの影であるゴミ問題や防災対策は喫緊の課題です。又、大熊町との連携は本区の未来を環境面で支える重要な施策です。
- ◆本委員会における我が会派の質疑を次年度の予算編成に反映するよう要望し、令和5年度各会計歳入歳出決算の認定に同意します。

かがやき中央

賛成

- ◆本区は人口の増加等の変化に伴い町会・自治会中心である意見聴取、京華スクエア等施設の見直しなどの課題への対応が求められている。
- ◆新たな時代への対応には本区に関わる多様な立場の方の声にこれまで以上に耳を傾け、ともに新たな区政を創っていくことが重要。
- ◆会派からの予算要望書及び質疑における数々の提案が今後の区政に活かされること、ますます闊達な議論ができることを期待。

中央区議会公明党

賛成

- ◆人口増加に伴う行政需要への対応等と持続可能な行財政運営を要望。
- ◆子ども医療費助成制度の高校生世代までの拡大や小中学校・保育園の給食費無償化の実施、幼稚園弁当給食の導入及び預かり保育の拡充の検討、産後ケア事業の拡大など子育て・教育環境の充実を評価。
- ◆物価高騰への対応をふまえた経済対策の実施や防災対策の強化、人と人との温かいつながりなど安心して住み続けられるまちづくりを。

中央区民クラブ

賛成

- ◆令和5年度は「新たなステージへ！」をテーマに掲げ、脱炭素社会の実現を目指す取組み、地域経済の活性化につなげる取組み、妊娠期から子育て期にわたる伴走型支援、都市再生に向けた都市基盤整備等に重点を置いた予算編成。コロナを機に区政を取り巻く環境が変化する中で、現下の課題に的確に対応できる組織づくりと部局間連携により、区民の信頼と期待に応える行政サービスの提供を望む。

日本共産党中央区議会議員団

反対

- ◆日本橋、八重洲、築地市場跡地などの大規模再開発や首都高新京橋連結路など道路計画が目白押し。助成金をつぎ込み、地域から転出者を生み、環境への負荷を増大させるまちづくりは問題。
- ◆保育園や学童クラブの待機児童対策、不足する低家賃住宅、国民健康保険料の値上げなど、自治体の本旨「福祉の充実」が不十分。
- ◆桜川公園を営利企業に貸し出すパークPFIの導入を見直すべき。

中央区議会立憲民主党

賛成

- ◆首都東京の中心都市であると同時に、江戸時代からの歴史と伝統が連続と続く、本区ならではの特性に資する事業の更なる充実を。
- ◆常に先を見据え、柔軟かつ迅速に対応し、区民の安全と安心を最優先に、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを求める。
- ◆本委員会で提案した内容や要望を子どもから高齢者まで、すべての区民が笑顔で安全・安心に暮らせるよう、少しでも区政に反映を。

日本維新の会

賛成

- ◆新たに策定された基本計画2023に基づく着実な執行を評価する。
- ◆行財政改革、特にDX化に向けた取り組みを加速させることを要望。
- ◆3年以内で54.6%の転出者が発生する現状の分析と改善を。
- ◆利用者目線と現場視点を組み合わせた区民施設の品質向上を求める。

士魂の会

賛成

- ◆物価の高騰や先行き不透明な社会情勢の中、多岐に渡る諸課題への取り組みにより社会経済活動の正常化が進んでいるが、より効果的で信頼性のある財政運営を要望。
- ◆時代に合った施策を実践し、様々な挑戦を続けていくことを確認。

区議会だよりはアプリでも！

区議会だよりは、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で配信を行っています。

利用方法

右のQRコードからダウンロードし、「お住まいの地域」を「東京都中央区」に設定してください。



